

第10回シンポジウムの開催報告(5月13日開催)

研究普及委員会 委員長 宮川裕之

『医療と情報』をテーマに情報システム学会第10回シンポジウムが以下のプログラムのとおり、青山学院大学 青山キャンパスで開催されました。

第1回浦昭二記念賞受賞者講演：

講演1 実践賞 「患者志向情報システム開発・活用による地域医療への貢献」

三津原庸介氏（日本調剤株式会社）、河野文隆氏（日本調剤株式会社）、荻原真喜乃氏（合同会社水野）

講演2 実践賞 「コンピュータ概論—情報システム入門（第6版）の出版と継続的な情報リテラシ教育の実践」

魚田勝臣氏（代表：専修大学名誉教授）、渥美幸雄氏（専修大学）、植竹朋文氏（専修大学）、大曾根匡氏（専修大学）、森本祥一氏（専修大学）、綿貫理明氏（専修大学）、石井徹也氏（共立出版）

特別講演：

講演3 「医療と情報・情報システムの最近動向」

永井 庸次氏（日立製作所人財統括本部産業医療推進センタ長、ひたちなか総合病院名誉院長）

特別講演の永井庸次氏からは、分断・サイロ化されていたり、データ構造が非構造であったりするため分析・活用が難しいと言われている多くの有用な医療データの活用、電子カルテなどの医療情報システムと外部モバイル医療情報等をビッグデータとして活用する上での情報セキュリティの課題克服など、医療を取り巻く現状についてご講演をいただきました。

今回は第1回浦昭二記念賞受賞者による受賞講演を行いました。「患者志向情報システム開発・活用による地域医療への貢献」では患者志向情報システム構築経緯と今後に向けての取組について、「コンピュータ概論—情報システム入門（第6版）の出版と継続的な情報リテラシ教育の実践」では、コンピュータ中心の時代に“学ぶべきは情報システム”と考えられた筆者らの継続的な改版とサービス活動によって、ロングセラー教科書を生み出した志、着想と実践および今後の展望について報告されました。

シンポジウム終了後、場所を移しての情報交換会では、講演者と参加者との間で有意義な議論が展開され、盛会のうちに幕を閉じました。